

体重は、量ればわかる。
顔は、鏡でわかる。
心だけは、わからない。



青年心理学を学ぶと、私の心はわかりますか？
高坂先生、教えてください。

子どもでもなく、大人にもなりきれない青年期は、
自分の外見や性格、友人関係などの悩みを抱えがちです。
青年心理学はそんな青年期、つまり学生自身の心が研究対象になります。
心は目で見ることができません。だから多くの人の声に耳を傾けて、
客観情報を集めます。私はそのデータをただ統計的に分析する
だけでなく、学生自身の実感とともに研究するよう指導しています。
そうすることで、学生は研究を通じて、自らの悩みを「私だけじゃないんだ」と
気づいたり、同世代の心の多様性も見えてくる。
そこに、この学問のおもしろさがあるんです。
正解のない学問ですし、研究には根気がいります。
けれど熱心に学ぶほど、自分の心もわかってくるはず。
ぜひ、たくさんの学生に学んでほしいです。



心理教育学科
専任講師 高坂康雅



現代人間学部

小田急線鶴川駅から

表現学部

徒歩約15分

経済経営学部

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学